

# 議会のひろば

特集

任期満了。4年間の軌跡!

P.8  
P.9



令和5年度  
予算決まる

岡谷の市民力  
発見!!

●街中で空き店舗を活用したスポーツ観戦!(カネイチビル)  
「おかビジョン」でまちを元気に!!  
山雅後援会岡谷支部の皆さんにお話を伺いました

議会のひろば 第31号

発行日:2023年(令和5年)4月25日発行 発行:岡谷市議会 編集:議会広報広聴委員会  
〒394-8510 長野県岡谷市幸町8-1 ☎0266-23-4811(議会事務局 内線:1711) URL <http://www.city.okaya.lg.jp/site/gikai/>



再生紙・植物油インキを使用しています  
印刷:ツルテ印刷株式会社

岡谷の市民力  
発見!!

●街中で空き店舗を活用したスポーツ観戦!(カネイチビル)  
「おかビジョン」でまちを元気に!!  
山雅後援会岡谷支部の皆さんにお話を伺いました  
[取材日:令和5年2月19日] ※新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら取材しています。

**山雅後援会岡谷支部とは** 松本山雅FCの公式後援会支部として7番目に立ち上がった。松本山雅サポーター、後援会員と共に、試合やチームを応援する他、松本山雅FCのコンテンツを活用したまちづくりを目指す。目標は岡谷市を諏訪地域初のホームタウンに。実現すれば、地元の子どもたちへのサッカー指導、岡谷市の物産品を県内外にPR他、様々な可能性を秘めているという。

- Q.1 松本山雅後援会岡谷支部にかかわるきっかけは? Q.2 活動の魅力は? Q.3 今後の展開、どのようにしていきたいか?



すぎうら なおき  
杉浦 直樹さん

- Q.1 知人に誘われ試合観戦に行くと、その盛り上がりで大変驚き徐々に引き込まれた。  
Q.2 応援を通じて仲間が増えた。チームの応援は地元の応援につながり、地域経済にも効果大。  
Q.3 ホームタウンに向けて行政と一緒に実現したい。仲間づくりで楽しさを共有したい。



ゆざわ ちえ  
湯澤 智栄さん

- Q.1 Jリーグの観戦経験がありサッカーがとても好きだった。維新塾のSNSで知り参加した。  
Q.2 見たり、いろんな人と出会うのが楽しみ。一人で観戦に行っても、サポーター同士仲間になり一体感を感じられるところ。  
Q.3 小坂田公園の芝生サッカー練習場に集まるファン等を、岡谷市への誘客につなげたい。



はなおか ひろあき  
花岡 宏明さん

- Q.1 駅前のララビジョンの応援がきっかけで、自然に活動に参加するようになった。  
Q.2 応援を通じて仲間ができて、活動により地域を元気にすることができること。  
Q.3 コロナ禍で活動が思うようにできなかったが、今後は人の輪をさらに広げていきたい。

**Q.岡谷市への要望は?**  
●松本山雅をホームタウンにするための協力を。  
●商工業だけでなく新たな切り口「スポーツ」を通じてまちの活性化につなげてほしい。  
●若い人が集まる活動拠点がほしい。

**寄附行為の禁止** 市議会議員が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されており、違反すると処罰されます。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。  
**政治家は有権者に寄附を「贈らない」・有権者は政治家に寄附を「求めない」・議員から有権者への寄附は受け取らない。**

**【寄附行為に該当する事例】**  
■お祭り、運動会、親睦旅行会、会合等の行事や、入学式、卒業式の行事に対し、寄附、餞別、お祝い、差し入れ等を行うこと。■個人に対し、お中元、お歳暮、入学祝、結婚祝を贈ること(議員自らが出席する結婚披露宴への祝儀や葬式における香典は除く)。■未成年者、社会福祉施設、市町村に対する寄附や年賀状、寒中見舞状などの時候のあいさつ状を出すこと(答礼のための自筆によるものを除く)。

この2年間「市民とあゆむ」をテーマに「市民力発見」では我がまちらしさの取り組みの紹介、特集で「コロナ禍における関心事の緊急アンケート」「高校生アンケート」等様々な世代の方々と交流ができました。今任期最終号に当たり取材を通じて出会ったすべての方々と、一緒に作り上げてきた委員に心より感謝を申し上げます。  
(委員長 今井康善)



私たちが編集してきました。任期最終号です。

- 議会広報広聴委員会**  
●委員長: 今井 康善  
●副委員長: 武井 友則  
●委員: 吉田 浩  
田村みどり・中島 保明  
今井 秀実・山崎 仁  
中島 秀明・早出すみ子

○次号(第32号)の発行は、令和5年7月25日の予定です。

# 予算決まる

3月13日(月)・14日(火)の両日にわたって、令和5年度の予算が各常任委員会で審査されました。

## 各委員の「注目点はこれだ!!」

●議長(総務委員)  
**小松壮**



### 「アフターコロナへの対策」

アフターコロナに向けた事業及びイベント等の復活と、中学校部活動の地域移行に対する準備と、魅力ある川岸学園構想の考え方について。

●総務委員長

**田村みどり**



### 「ふるさと寄附金 寄附促進事業拡充」

岡谷ブランドの魅力の発信を推進するため、返礼品の磨き直し事業や寄附金に関する事務を委託し、寄附件数・金額の増額を図る点。

●社会委員

**浜幸平**



### 「積極的な予算であるか」

脱コロナに向けて、各事業予算は必要性和効果の面に置いて適切であるか確認したい。

●社会委員長

**吉田浩**



### 「各世代に向けた きめ細やかな施策」

出産・子育て応援給付金から子ども家庭総合支援拠点事業、重層的支援体制整備など、各世代向け施策。

●産業建設副委員長  
**中島秀明**



### 「新規事業や拡充 事業にも注視!!」

『第5次岡谷市総合計画』に関する事業と「ゼロカーボンシティ宣言」関連事業及び物価高騰対策に向けた支援事業に、特に注目。

●産業建設委員

**今井義信**



### 「新規・拡充・継続 事業のバランス」

各事業の具体的な実施内容は、どんなところなのか、また、部局をまたぐ事業については、事業進捗の連携をどう行うかに注目。

●社会副委員長

**中島保明**



### 「5総後期基本計画 への歩みを確認」

重点施策の特別分とされた《移住・定住の促進》と《ゼロカーボンの推進》の事業内容について詳細を掌握し審査・審議をしたい。

●社会委員

**早出すみ子**



### 「誰ひとり 取り残さない!!」

物価・エネルギー高騰の影響が予算全体に及ぼしている。命・暮らしを守る支援の充実及び拡大を視る。

**予算**

●移住・定住の促進 ●若者移住者住まいの支援事業 ●ゼロカーボンの推進 ●住居用再エネ設備等導入促進事業 ●カーボンマネジメント支援事業補助金 ●省エネ農業推進事業補助金

●総務副委員長

**武井友則**



### 「女性若者に選ばれるまちづくりとは」

この方針が新年度の事業にどのように反映させられているか。若者がまことに希望を持ってもらえるような予算となっているかに注目!

●総務委員

**渡辺太郎**



### 「市民の声と時代に 即した新規事業」

昨年の12月議会で質問した伴走型相談支援と経済的支援を一体とした『出産・子育て応援給付金事業』は予算計上されているのか。

●社会委員

**大塚秀樹**



### 「限られた財源の 適正配分」

人口減少は経済規模の縮小につながるから、出会いから結婚、出産、子育て、教育と切れ目のない支援と移住定住の推進に注視した。

●総務委員

**早出一真**



### 「幅広い福祉施策や事業の展開」

子どもや障がい者などに対する福祉施策・事業の一層の拡充が図られ、市民の誰もが福祉に関する相談ができる体制になっているか。

●産業建設委員

**藤森博文**



### 「次代を見据えた 産業振興に着目」

次世代の成長産業参入支援、新技術・新製品の創出、全産業の活性化基盤固めとなる新規・拡充事業、新規創業支援に着目した。

●産業建設委員

**山崎仁**



### 「都市公園整備や商業活性化の事業」

賑わいを目指すやまびこ公園の改修等と、湖畔公園の諏訪湖を活かした魅力ある観光振興事業。空き店舗等への商業活性化支援事業。

●産業建設委員

**遠藤真弓**



### 「多様で複雑な 生きづらさの解決」

制度の隙間に埋もれてしまう方々の救済措置は充分か。またライフワークバランスを整え、多様な働き方を支える施策は充分か。

### 「将来を見据えた 新時代の創出事業」

デジタル化推進により地理的な制約、年齢、性別、障がいの有無に関わらない豊かさの実感と、健康寿命延伸等健康増進に関わる事業。

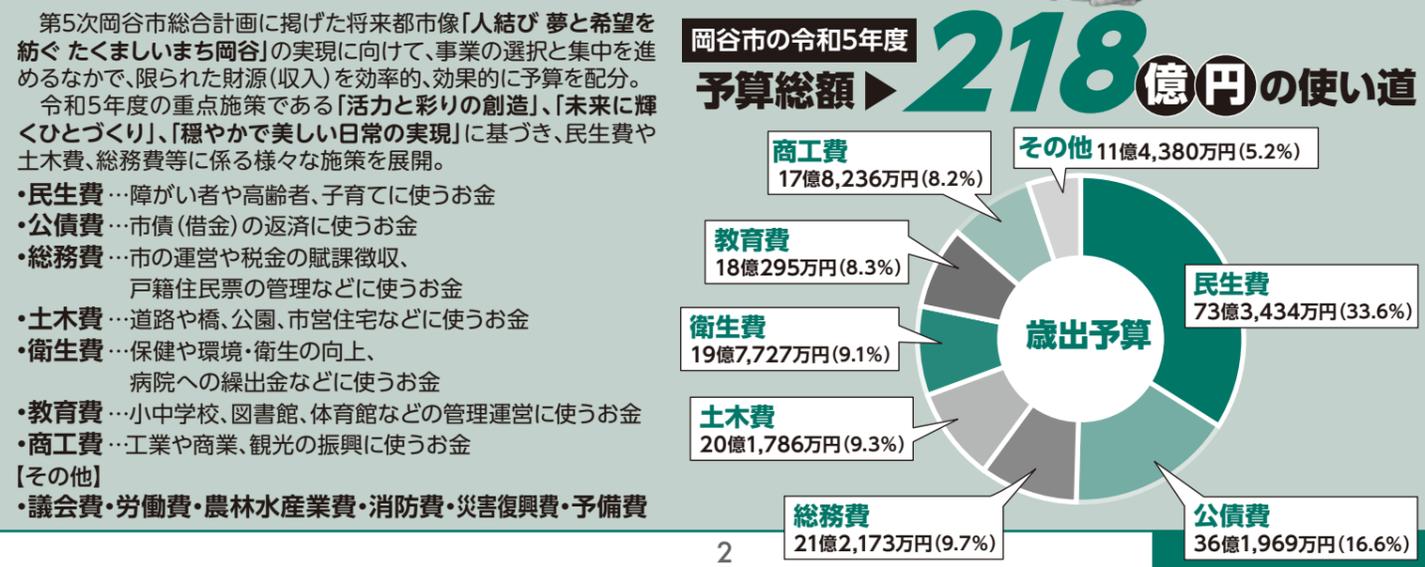
●総務委員

**笠原征三郎**



### 「歳入に何か 問題はないか?」

福祉への要望に対して答弁の多くが「財政的困難」を理由に実現しません。固定資産税の免税など歳入の面での問題に着目。



◆賛成討論  
◇令和5年度は第5次岡谷市総合計画前期基本計画の最終年度として目標達成へ向けた総仕上げの年であり、これまでの取り組みの検証により基本構想の見直しや後期基本計画の策定、またそのほか多くの計画の策定へつなげていく重要な年となる中で、本予算は、移住定住の促進及びゼロカーボンの推進へ重点配分されており、喫緊の課題への対応をしっかりとされた予算となっている。

計画の策定や事業の実施に当たっては、市民の声をしっかりと聴き反映していただくなど、市民総参加のまちづくりを確実に実施していただくことを要望する。

◆反対討論  
◇「未来を見据えた躍動の年」と位置づけられた予算計上がされ、地方移住に対する関心の高まりや新たな人流に対し、人口減少対策・少子化対策への予算も当てられてはいる。さらに、ゼロカーボンシティへ向けては、初期投資はかかるが、最終的に省エネ効果が期待できる事業や、義務教育学校づくりを概念として「川岸学園構想の実現に向けた予算など」高く評価する。

市民生活と直結した福祉・医療・介護・環境分野やものづくり企業への支援・拡充などへもバランスの取れた予算配分である。目指す将来都市像の具現化に邁進されますよう要望し、本予算に賛成する。

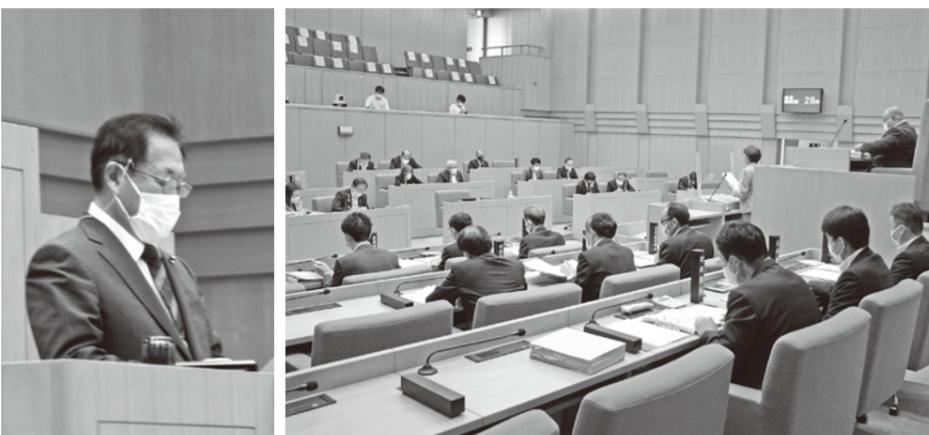
令和5年  
第1回定例会(3月)  
議場の再現  
ダイジェスト版

# ズバリ! 市政を問う!

## 一般質問

- 一般質問とは…議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めるなど、質問をすることです。  
年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。
- 一般質問の順番は、“くじ”で決めています。

▶ 岡谷市公式チャンネル ★各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてください。



## 目次

1. 中島 保明…4ページ
2. 遠藤 真弓…5ページ
3. 早出 一真…5ページ
4. 吉田 浩…6ページ
5. 浜 幸平…6ページ
6. 田村みどり…7ページ
7. 渡辺 太郎…7ページ
8. 中島 秀明…10ページ
9. 早出すみ子…10ページ
10. 山崎 仁…11ページ
11. 大塚 秀樹…11ページ
12. 笠原征三郎…12ページ
13. 武井 友則 12ページ
14. 今井 義信 13ページ

※掲載は質問順です。  
※掲載内容は質問者の文責によるものです。

**問** 主要財政指標から見える岡谷市の財政状況について



中島 保明



**答** 実質公債費比率及び将来負担比率の数値は減少している、また早期健全化基準を大きく下回っており健全な財政が保持されている

**問** まず市債残高は?

**答** 減少してきている。令和3年度決算額が約228億7千万円、令和5年度末現在では約218億4千万円。県下19市と比較すると令和3年度末の市債残高は少ない方から9番目。人口一人当たりの残高では少ない方から13番目。

**問** 市債元金償還金は?

**答** 令和3年度決算額で約18億4千万円、令和5年度計上額は17億7千万円である。

以上、必要な事業を実施しながらもキャップ制を維持し、市債残高および市債元金償還金の縮減に努めている。

**問** 実質公債費比率(一般会計等が負担する元利償還金及び公債費と認められる額の、標準財政規模に対する比率)は?

**答** 令和3年度決算では8.0%で低い方から12番目。

**問** 将来負担比率(一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率)は?

**答** 同じく54.6%で低い方から17番目(高い方から3番目)。

行政区の持続可能な運営

**問** 役員のなり手不足の解消は?

**答** 特に若い世代の方々が無理なく気軽に区の活動に参加できるように仕組みづくりが必要だと考えている。

**問** 市の嘱託事務員でもある区役員の報酬は?

**答** 区独自の手当については把握していないが、市行政事務嘱託員設置規則により区長は16万2000円、その他役員は14万36000円を支払っている。



行政区の神社委員会により引き継がれている  
毘沙門天奉納相撲の土俵づくり

**問** 正規職員増加が必要では?

**答** 補充は難しい



遠藤 真弓



**問** 正規職員のメンタル不調による休職者の状況は?

**答** 令和3年度は4人。休職中は必要に応じ会計年度任用職員を採用。

**問** 年次休暇の取得状況は?

**答** 大雨災害や新型コロナウイルスワクチン接種への対応により取得増加にはつながらなかった。必要に応じ業務の見直し、管理職のマネジメント能力の向上、チームにより効率的、効果的に対応することも必要と考えている。

**問** 時間外勤務の状況は?

**答** 令和3年度は平均7.4時間。コロナに係るワクチン接種、定額給付、その他補助金事務が増加の要因。職員能力の底上げ、時間外勤務縮減への意識向上等に努める。

**問** 育休中の人員補充は?

**答** 会計年度任用職員で対応。

**問** 会計年度任用職員との休暇の違いは?

**問** 期末手当について支給月数に差がある。

**答** 職員の特別休暇(有給)の一部が会計年度任用職員の、その他休暇(無給)である。

**問** 手当ての違いは?

**答** 期末手当について支給月数に差がある。

**問** 学校給食での有機農産物等

**問** 活用の状況は?

**答** 有機農産物等の活用の割合は36%。課題は調達コストや安定した供給量の問題など。  
★要望…産業建設委員会の提言について農林水産課と連携強化を。

**問** 保育園年度途中の入園

**問** 出生前の入園申請の状況は?

**答** 令和3年は約6%で増加傾向。

**問** 選考に漏れた場合兄弟で別の園になるケースがあると聞くが?

**答** 丁寧な説明に努め、利用者の利便性に配慮した運営にも努める。



**問** 屋外スポーツ施設の芝生化に向けた計画は?



早出 一真



**答** 球場は半面ずつの利用、湖畔広場及び川岸スポーツ広場は臨時駐車場としての多様な利用があることから芝生化は難しい。

**問** 人工芝グラウンドの可能性のある庭球場に適用できる補助制度は?

**答** 「スポーツ振興くじ」to to to にグラウンド芝生化事業がある。

**問** 森林・林業の活性化について

**問** 地域林政アドバイザーのみならず、国や県、専門家との連携は?

**答** 国・県等の有資格者から専門的なアドバイスを受け、知識と技術の習得、長野県林務部等からの情報提供や指導等、連携を図っている。

**問** 林業業者の人材の育成や確保に向けた支援は?

**答** 林業大学では年間20名の学生を養成するなど担い手の育成に努めている。

**問** 屋外スポーツ施設の芝生化に向けた計画は?

**答** 財政状況を見極めながら改修工事に向けた研究を進める



早出 一真



**問** 屋外スポーツ施設の芝生化に向けた今後の整備計画は?

**答** 球場は半面ずつの利用、湖畔広場及び川岸スポーツ広場は臨時駐車場としての多様な利用があることから芝生化は難しい。

**問** 人工芝グラウンドの可能性のある庭球場に適用できる補助制度は?

**答** 「スポーツ振興くじ」to to to にグラウンド芝生化事業がある。

**問** 森林・林業の活性化について

**問** 地域林政アドバイザーのみならず、国や県、専門家との連携は?

**答** 国・県等の有資格者から専門的なアドバイスを受け、知識と技術の習得、長野県林務部等からの情報提供や指導等、連携を図っている。

**問** 林業業者の人材の育成や確保に向けた支援は?

**答** 林業大学では年間20名の学生を養成するなど担い手の育成に努めている。

**問** 都市計画道路「東町線」の進捗状況は?

**答** 事業化に向け継続的な権利交渉を行っている。

**問** 都市計画道路の整備状況は?

**答** 30路線中、13路線が完了、一部改良済み14路線、未着手3路線。

**問** 都市計画道路の見直しは?

**答** 都市計画道路全体について必要性を検討し、時代に即した計画的な整備を進めている。



市営庭球場 砂入り人工芝

**問** 岡谷市における地域福祉向上に向けた取組の進捗は？  
**答** 各種福祉活動をする団体や機関等と協働で各施策を推進中



吉田 浩



**問** 悪質な犯罪が増加する中、日常生活に不安を感じている高齢者が安心して暮らせるため、地域福祉観点でどのようにアプローチ？

**答** 近年多発する自然災害や高齢者を標的にした凶悪な犯罪事件から身を守るためにも地域の協力や助け合いを求める傾向が強まっている。地域福祉の観点から、在宅で暮らす要援護高齢者の把握のために、民生委員による世帯状況調査を年に1回行っている。また、地域ぐるみの見守り合いの体制を整えるために、主に80歳以上の方を対象に近隣の方などに見守り協力員になってもらう「見守り安心ネットワーク事業」を実施している。

高齢者の通いの場合は、参加者の日々の生活を見守りや困りごとの相談場所としてセーフティネットとしての機能を持っている。関係者が連携して安心して暮らせる地域での支援づくりが重要と考えている。

**問** インボイス制度「適格請求書等保存方式」への対応  
**答** 各事業会計において制度開始に向けて準備を進めている



浜 幸平



**問** 上・下水道事業におけるインボイス制度の準備状況は？

**答** インボイスを交付する義務が課せられることとなるため、納入通知書等の記載変更のため、令和5年度予算にシステム改修費として合わせて290万円余りを計上している。

**問** 病院事業会計におけるインボイス制度の導入と対策について

**答** 「適格請求書発行事業者」の登録申請を行ない、2月21日付けで登録通知書が届いている。また必要な費用は、この定例会で議案上程されている。

**問** 取引条件を見直すなど優先的地位の濫用に該当する混乱について、どのような見解であるか？  
**答** そつした懸念に対応するため、導入まで一定の準備期間が設けられている。また制度開始の10月1日から更に6年間は免税業者からの仕入れについて一定の仕入税額控除が認められている。

**問** 一般会計におけるインボイス制度への準備状況は？

**答** 一般会計においても適格請求書発行事業者としての準備をしているところであり、各課において対象科目の抽出を行ったところである。また令和5年度の当初予算へシステム改修費などを計上している。

国税庁の税金相談窓口は下記のQRコードで



税金相談チャットボットはこちらから

**問** 3年ぶりの「おかもものづくりフェア2023」の実績は？  
**答** 内容を参加体験型に変更、親子を中心にのべ4900人来場



田村 みどり



**問** 開館20周年を迎えた「テクノプラザおかももの開館当初の目的は？

**答** 産業振興の拠点施設の必要性が位置付けられ、本市のものづくりのシンボリックな施設として開館した。

**問** コワーキングスペースに続き、今後シェアオフィスが開設するが、その主旨は？

**答** デジタル技術の普及に伴い、市内においても働き方や働く場が多様化。誰もが自由に働ける環境を創出するため開設。岡谷市での夢の実現、産業の活性化、まちの賑わいにつなげていきたい。

**重層的支援体制整備事業**

**創設**

**問** この事業の内容は？

**答** 対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施し、重層的な支援体制の強化を目指すものである。



ものづくりの楽しさを岡谷で発見！

**問** 地域づくりに向けた支援事業の重要性を市はどのように捉えているのか？

**答** 多様な地域活動が生まれやすい環境整備を行うことを目的として、住民の抱える生活課題を地域の中で支える場の充実を図り、「福祉のまちづくり」に繋がる非常に重要な取り組みである。

**余儀なくされる避難生活**

**問** 市が開設する指定避難所で生活する上での避難者自身が運営に関わる必要性は？

**答** 災害の規模が大きくなるほど、避難生活が長期化することを踏まえ、避難住民が主体的に運営に参加し、避難者ニーズに沿った、良好な環境で秩序ある生活拠点として機能させるため。

**問** 保育園で使用済みおむつ処理を開始する時期は？  
**答** 新年度のなるべく早い時期に実施したい



渡辺 太郎



**問** 保育園で処分することを推奨する厚生労働省の通知内容は？

**答** 保護者の負担軽減と子供毎のおむつの振り分けがなくなり、業務の負担軽減から推奨している。

**発達性読み書き障がい**

**問** 文字の読み書きに限定した困難がある児童生徒に対する支援は？

**答** 小中学校において日常的な把握に努めており必要な支援に繋がっている。タブレットやデジタル教科書、デジラー教科書の活用を進めている。全ての小学校にミム(MiMu)を配布し指導に役立てている。

**防災・減災、安全対策**

**問** 住宅耐震化の現状や耐震シェルターの設置支援の考えは？

**答** 5年間の耐震診断で1100件中、耐震性なしの診断は108件。その内、耐震改修は22%に留まっている。

**旧市庁舎の保存と活用**

**問** 歴史的建造物の保存と活用について、国の取り組みや支援は？

**答** 「歴史的風致維持向上計画」を作成し、国の認定を受けることで財政的支援がある。国の支援等はしっかり情報収集し、文化的価値を維持保全した活用は参考にしている。

**問** 蚕糸公園等との連携は？

**答** キッチンカーの乗り入れやイルミネーションの設置、旧庁舎のライトアップを予定している。





11月 姉妹都市  
東伊豆町との交流  
3年ぶりに東伊豆町議会を  
訪問し、交流と親睦を  
深めました

(議会だより30号より)

11月 いちい学級  
との意見交換会  
地域で学びを続けている  
シニアの皆様の声を  
聞きました



6月  
高校生アンケート  
市内3高校の3年生を対象に  
岡谷市に関するアンケート  
を行いました

## 幅広い世代と交流! 政策提言書第2弾を提出!

感染対策を図りながら再開した「いちい学級」や「子育て支援学級」との交流を深めました。また、2回目となる政策提言書を行いました。

12月 政策提言書  
の提出  
2回目となる政策提言  
を行いました

詳細はこちら



8月 市民アンケート  
レイクウォークにて  
"市民の皆さんの声"を  
聞きました



## みんな 市民とあゆむ! 市民力の発見!

市民アンケートの実施や、各公民館で行なわれている講座に「議会」を加えて頂き、市民との交流が広がりました。

10月 大雨災害  
8月に起きた  
大雨災害の現地を  
視察しました



3月 ウクライナ侵攻に  
関する決議書の採択  
「ロシアによるウクライナ侵攻を非難し、  
平和的解決を求める決議」を  
全員一致で採択しました



10月  
子育て  
支援学級  
子育て世代の  
"生の声"を  
聞きました



## 特集 任期満了。

(議会だより28号より)

### 議会活動

## 4年間の軌跡!

7月 姉妹都市  
富岡市との交流  
富岡市議会議員が来訪し、  
意見交換と交流を  
行いました



5月 岡谷市議会の新しい顔ぶれ  
これから4年間、共に活動するメンバーです

(議会だより16号より)

8月  
議会キッズおかや  
市内小学生が  
模擬議会を体験しました



## 飛び出せ! 議員 新体制スタート!

岡谷市議会に新たに選出された18名の顔ぶれです。ここからの4年間、市民にとって身近な議会を目指してスタートを切りました。

令和  
元年度

令和  
4年度

令和  
2年度

令和  
3年度

## コロナ禍との戦い 岡谷市議会初となる 政策提言書を提出!

新型コロナウイルスの感染防止対策と対応に追われた一年でした。この状況においても、議会初となる政策提言書を提出しました。また、感染状況に配慮しながら、児童の議場見学やシトラスリボンの作成に取り組みました。

1月  
シトラスリボン作成  
コロナ禍であっても差別や  
偏見のないまちを目指した  
取り組みです



10月  
市内小学校  
見守り隊の  
活動を取材



(議会だより20号より)

3月  
政策提言書  
の提出  
議員の思いを  
ひとつにした政策を  
まとめました



10月  
長地小学校  
児童が議場見学  
正副議長が案内・説明  
しました



皆様の協力のもと議長の任期を終えようとしております。コロナ禍にあっても、できる限り活動を止めないことを心がけました。2回目の政策提言書の提出をはじめ、市民にとって身近な議会を目指し多くの懇談会や市内各所において議会報告会を行いました。今後「市民にとって更に身近な議会」となりますことを願っております。(岡谷市議会 議長 小松 壮)

問 物価状況と高騰対策



中島 秀明



答 市民生活への影響を注視しつつ状況に応じ適時適切に対応する

問 物価動向と市民生活への支援策

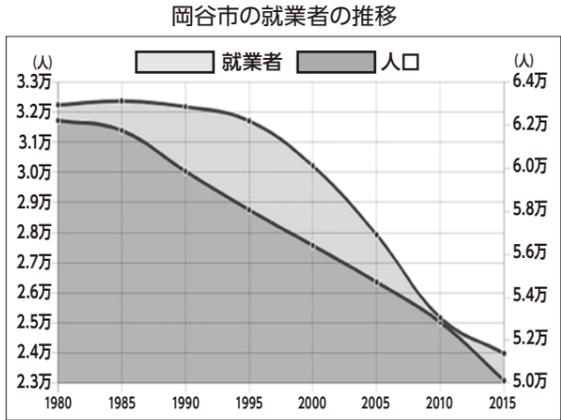
答 各地の物価は、県庁所在地が参考とされるが、長野市の今年一月の物価指数は前年同月比5.4%の上昇で17ヶ月連続の上昇。また、支援策は、全市民対象のおかや生活応援プレミアム商品券事業、保護者の負担軽減への学校給食食材費高騰臨時対策事業、低所得世帯や子育て世代への臨時特別給付金給付事業等、市民生活への影響に対して適時適切な対応をしている。

社会動態に係る人口減少対策

問 社会増減対策として事業承継や創業支援及びデジタル化への対応

答 工業活性化計画の重点施策として、創業や事業承継等の支援により産業の維持・強化に努めており、起業訪問や情報収集、既存の取引ネットワークや雇用と技術の確保に向けた活動、商工会議所や県創業支援センターとの連携強化による創業や新規事業に向けた環境づくり、また、テクノプラザおかや

を中心としたデジタル産業や新規事業の創出により製造業に相乗効果が及ぶ産業振興に努めている。  
★要望：第5次岡谷市総合計画の中核的目標に事業承継とデジタル化による創業と新規事業の創出を。



ゼロカーボンシティへの取組み

問 グリーンボンドの購入の目的は?

答 県発行の債権で利益に加えて「2050年岡谷市ゼロカーボンシティ宣言」の目標達成に向けて購入したが、利率0.439%、年限十年間で県施設や水害対策への河川改修等の費用に充てられる。

問 ヤングケアラーの実態は?



早出 すみ子



答 小学生11.6%、中学生6.3%、全国より多い

問 県の支援策は?

答 専用相談窓口の設置やコーディネーターの配置及びオンラインサロン委託、研修会の実施。

問 市の現状と課題は?

答 子どもの権利が侵害されている可能性がある。自身が認識していないケースもあり、支援につながりにくい。

問 支援策は?

答 定期的なアンケート・面談を行い、また、関係機関や地域とも連携し、子どもや家庭の把握に努める。

問 要保護児童対策地域協議会との連携は?

答 構成する関係機関が役割を分担し、連携を図り、支援につなげる。  
★要望：広く市民に周知を。

インボイス制度開始の影響

問 相談内容は?

答 制度の対応の仕方や登録の有無がわからない。廃業が増えるの



問 インクルーシブ教育をどう捉えているのか?

答 障がいのあるなしにかかわらず本市の大切な取り組みである



大塚 秀樹



問 インクルーシブ教育への取り組みは?

答 障害の有無に関わらず、共に学ぶことのできるインクルーシブ教育は、本市が大切にしている取り組みで、障がいなどを抱える子どもたちに対しては、小学校入学前から就学教育相談などを介して家庭との接点を持ち、保育園や幼稚園等の専門家と関わり、最適な教育や支援が受けられる体制を構築している。  
また、障がいの有無に関わらず、ともに支えあい、すべての人が法や制度で守られている社会を目指す取り組みは、授業の中でも学んでおり、学校生活で一緒に学ぶ環境や困っている人にも手を差し伸べる体験の中で、理解を深めていくことができる。

問 障がいのある方の将来は?

答 県の雇用障がい者数は増加傾向にある。特殊支援学校の卒業生の進路は、全国的に一般企業が3割、福祉的就労が6割、未就労が



困っていることは相談しよう

市町村合併

問 市町村合併について

答 合併は、相手が存在することなので、お互いの市町村が理解しあい、お互いの雰囲気づくりと民意の高まりが大切であると考えてる。



山崎 仁



問 市民祭「第54回岡谷太鼓まつり」の開催は?

答 新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いたが開催に向けて準備

問 4年ぶりの開催で、太鼓の打ち手の練習不足など影響は?

答 市民の太鼓まつりに対する期待や関心に影響が出ていると感じる。打ち手については、各団体において練習が始まっているが、3年間のブランクで新たな打ち手の確保が出来ず、育成や技術を次世代に繋げる活動も制限される。

問 岡谷太鼓まつりは多くの観光客も来るが、今年は観光客の誘客は?

答 PRについては岡谷駅長が部長である誘客宣伝部会が中心となり誘客し、JR東日本と連携して新宿駅やJR東京支社管内などにポスターを掲示。また旅行会社向けの商談会で宣伝。岡谷観光協会とも連携してSNSを活用した情報発信に努める。

★要望：更に岡谷太鼓まつりを発展させるため、岡谷湖畔公園をメイン会場に開催することも、今後考えたらどうか。諏訪湖のロケーションが良く、面積が広いいため、今以上に来場者を受け入れる事も



保育園の風景

公立保育園の見える化

可能。花火とのコラボレーションも考えられ、より壮大な演出もできる。開催場所の検討を。

問 保護者や保育士が、問題発生した時の対応や不適切保育の確認で監視カメラの設置は有効。設置の現状とメリット・デメリットは?

答 保育室への監視カメラの設置はない。メリットは園児の事故防止やトラブル等の事実確認が可能。デメリットは保育士が萎縮したり、映像の一部のみで誤解を招く事がある。園児や職員のパライバシー保護のため配慮が必要。

問 高齢者が安心して医療機関にかかれる施策  
答 全世代対応型社会保証制度の構築



笠原 征三郎



問 高齢者の福祉医療をどの様に考えているのか、また、市単独でも高齢者の医療費個人負担の軽減の実施を

答 一律に高齢者を福祉医療の対象とは考えない。高齢者の医療費の軽減は、市の財政状況を踏まえると独自の支援は難しい。

学校給食費の無料化は、子育て支援のひとつとなる

問 学校給食の無料化は、子育て支援であり、また、学校給食は教育の一環であると思う

答 学校給食法では、学校給食は、学校における教育の実施に必要不可欠なものであり、食育の推進を図ることが目的とされている。

いまこそ、全市民・全世帯を

対象とした、幅広い生活支援を

問 毎月、物価高騰が続いている。幅広い市民を対象にした支援策を

答 全市民・全世帯を対象とした50%のプレミアム商品券の実施、また、水道・下水道料金の据え置きなど行政サービスで市民生活を支援している。

問 いまこそ、全市民へ現金給付の支援が必要と考えるが

答 現時点では、全市民を対象としての現金給付による支援は考えていない。

固定資産税の免除について

問 地域未来投資促進法に基づき固定資産税が課税免除になったのは何社で、総額どの位か?

答 2社に適用され、総額約1300万円である。うち4分の3は地方交付税で措置される。



楽しい学校給食

問 川岸学園構想で目指す義務教育学校とは  
答 9年間の系統性のある教育課程の実現が可能



武井 友則



問 義務教育学校のメリットは?

答 学校教育方針の共有が図られることで、小中学校の区別なく児童生徒の指導に当たることができ、情報共有のしやすさにより複数の教員が子どもの特性や個性に合わせて継続的な指導ができる点がある。また学年設定の自由度もあるため進学の際変化になじみず不登校等に陥ってしまう、中一ギャップの解消や緩和が見込まれる。

問 施設整備の考え方は?

答 老朽化対策、バリアフリー化、他施設との複合化、共有化、集約化、脱炭素社会の実現に貢献する持続可能な教育環境の整備などに基づき長寿命化を図る整備が基本となる。異年齢の交流が可能な多目的施設の設置や給食室の共同化等が考えられるが具体的な部分については令和5年度から検討していく。校舎のコンパクト化により生まれる敷地の余地に公立の幼保連携型認定こども園を併設する予定であり、地域の誇りとなるような魅力的な施設を検討していきたい。



こどもたちが希望をもって暮らせる岡谷市の実現を

子育て支援の充実

問 子育て支援の充実へむけた相談支援体制の充実とは?

答 乳幼児健診では心理士を配置することで気軽に心理相談できる体制、「こどもく」では保育士や看護師などが配置されているため、遊びの間に発育のことや、離乳食などについて気軽に相談できる場となっている。また令和5年3月から「出産・子育て応援給付金事業」を開始しており、経済的支援とあわせて伴走型相談支援を充実するため、専門保健師を増員配置し相談支援にあたる環境を整えている。

問 産業振興の取り組みの中、岡谷市事業者の現状は?  
答 引き続き低調だが、一部では回復の兆しがあるが、差がある



今井 義信



問 現状を理解したが、状況分析は?

答 光熱費や原材料費などの値上げにより、多くの業種で経費が増加し収益を圧迫している。

問 販路開拓で企業からの相談あるいは事業所訪問の中状況把握は?

答 各社からの各種相談や企業訪問によるヒアリングを通じて、企業の現状を把握し、各社の実情に応じた支援をしている。

問 働く場における男女の意識調査から見える女性活躍の状況は?

答 管理・監督職の女性割合は調査以降、上昇が続いている。会社の制度を利用しながら、働き続ける従業員が増加していることから、女性も仕事を継続し、社会参加が進んでいると推測できる。

問 市内企業のデジタル化への状況は?

答 補助制度を活用し、IoTや生産管理システム等の導入により、デジタル化の取り組みが進められ



岡谷美術考古館  
顔面把手付深鉢形土器(国重要文化財)

問 今後への支援のあり方は?

答 現在実施している補助制度の継続と拡充、県産業振興機構との連携等により支援していく。

文化財行政の考え方

問 東京博物館館長の発言に対して、岡谷市教育委員会としての、文化財行政の考え方は?

答 緊急性や必要性の優先度、修繕等の内容を検討する、市指定文化財保護事業補助金の申請状況により予算を計上している。

議員報酬等の特例に関する条例を制定

議会改革の推進で、議員の長期休暇に関する他市の状況等含め研究をしてみました。このことについて議員各位で議論を重ね、本定例会で条例制定の運びとなりました。

議員が長期休暇した場合 ▶ 長期欠席期間により報酬が減額されます

長期欠席の期間	支給割合
90日を超えた場合	100分の80(2割減額)
180日を超えた場合	100分の70(3割減額)
365日を超えた場合	100分の50(5割減額)

適用対象外 ▶ ○公務災害補償等による公務上の災害、通勤による災害  
○女性議員の出産他、議長が認める理由

この条例は4月1日より施行します

### 岡谷市議会議員は、広域連合議会、一部事務組合議会でも議員として活躍しています

#### 諏訪広域連合議会

○諏訪広域連合で行う仕事は、広域的な事務や市町村が単独で行うことが難しい事務（介護保険、諏訪広域消防など）を行っています。

◇岡谷市議会からは、小松壮議長、吉田浩議員、今井康善副議長、中島保明議員、今井秀実議員の5名が選任されています。(定数22名)  
●令和5年度予算は以下のとおり  
・諏訪広域連合一般会計予算 3億5345万7千円  
・救護施設八ヶ岳寮特別会計予算 3億5204万9千円  
・介護保険特別会計予算 206億119万6千円  
・諏訪広域消防特別会計予算 26億285万3千円  
・諏訪地域ふるさと振興基金事業特別会計予算 1157万円

#### 湖北行政事務組合議会

○湖北行政事務組合は、岡谷市・下諏訪町・辰野町の3市町で構成し、湖北衛生センターと湖北火葬場（湖風苑）を運営しています。

◇岡谷市議会からは、小松壮議長、田村みどり議員、中島秀明議員、今井康善副議長、今井義信議員、早出すみ子議員、渡辺太郎議員、大塚秀樹議員、山崎仁議員の9名が選任されています。(定数17名)  
●令和5年度予算は以下のとおり

#### 湖周行政事務組合議会

○湖周行政事務組合は、岡谷市、諏訪市、下諏訪町のごみ処理の共同化に取り組んでいます。

◇岡谷市議会からは、小松壮議長、早出一真議員、笠原征三郎議員、遠藤真弓議員の4名が選任されています。(定数12名)  
●令和5年度予算は以下のとおり  
・湖周行政事務組合会計予算 9億6401万5千円

#### 諏訪広域公立大学事務組合議会

○諏訪広域公立大学事務組合は、「公立諏訪東京理科大学」を開学、地域の「知の拠点」として、諏訪地域や長野県内をはじめ国内外にも貢献する大学を目指しています。

◇岡谷市議会からは、小松壮議長、浜幸平議員、武井友則議員の3名が選任されています。(定数20名)  
●令和5年度予算は以下のとおり  
・諏訪広域公立大学事務組合一般会計予算 19億1365万2千円

### 令和5年 第1回定例会

令和5年2月24日から3月20日までの25日間の会期で開かれ、報告案件4件、一般議案が34件、議員提案が3件の計41件が審査されました。  
主な審査・審議結果は次のとおりです。

#### ◆議案第19号 岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例

本会議での提案説明(議案の内容) 健康保険法施行令等の一部を改正する政令の公布、施行に伴い、岡谷市国民健康保険条例の一部を改正し健康保険法施行令で定める出産育児一時金の支給額現行の40万8千円から48万8千円に引き上げるものである。

※本会議での説明の後、社会委員会に審査付託されました。

#### ◆社会委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

問 「現状の出産費用の平均的な金額」及び「産科医療補償制度の利用状況」は?

答 医療機関によって異なるが、諏訪圏域だと概ね60万円台から80万円台と思われる。また、産科医療補償制度の利用状況については、全国的に見ると制度の積算数値としては年間500人前後であるが、市内の利用はない。

#### (主な議案の審査・審議結果)

※質疑の後、討論採決が行われ、社会委員会では原案のとおり可決されました。

#### ■再び本会議において議案の審議 ※審議の結果

全会一致で可決されました。

#### ◆議案第21号 岡谷市都市公園条例の一部を改正する条例

#### 本会議での提案説明(議案の内容)

指定管理者に管理を行わせようとする公の施設に「蚕糸公園」を追加するほか、都市公園の賑わいの創出に繋げるため、蚕糸公園に車両の乗り入れが可能な広場を整備し、キッチンカー等を想定した移動販売を可能とし、使用料の改正等を行う。

※本会議での説明の後、産業建設委員会に審査付託されました。

#### ◆産業建設委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

問 蚕糸公園内のキッチンカーの乗り入れ想定台数は?

答 2台程度のスペースを確保している。

#### ■編集後記

昨年より、『議会だより』の編集をする広報広聴委員会メンバーになったのですが、「途中からの委員会への参加で、『インカイ?』って聞いたら、皆さん、委員になって『インですー』って言って貰えたので、楽しみながら編集に関わってきました。

『議会だより』は、市民の皆さんに議会を伝えるものですが、広報広聴委員会メンバーも改選を経て、代わりますが、『議会だより』『ダヨリ』(頼り)にならずに、いろんなツールで議会が市民の身近になればと思います。今後も期待して下さいー! (中島秀明)



整備が進む蚕糸公園

問 指定管理者は他の都市公園の管理運営も適切に行っており、蚕糸公園においても保守点検をはじめ、植栽の管理、芝生の芝刈り、イルミネーション等の設置や撤去もお願いすることとなるが、ノウハウを持っているという点で、大変メリットが大きいと感じている。

※質疑の後、討論採決が行われ、産業建設委員会では原案のとおり可決されました。

#### ■再び本会議において議案の審議

※審議の結果  
全会一致で可決されました。

### ○令和5年 第1回定例会(全会一致により可決等された議案と報告)

議案番号	件名	議案番号	件名
報告第1号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	議案第16号	岡谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度岡谷市一般会計補正予算(第13号))	議案第17号	岡谷市子ども・子育て支援審議会条例の一部を改正する条例
報告第3号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	議案第18号	岡谷市福祉タクシー運行利用条例の一部を改正する条例
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度岡谷市一般会計補正予算(第14号))	議案第19号	岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例
議案第1号	岡谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	議案第20号	岡谷市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第2号	岡谷市教育委員会委員の選任について	議案第21号	岡谷市都市公園条例の一部を改正する条例
議案第3号	岡谷市湊財産区管理委員の選任について	議案第22号	岡谷市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
議案第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第23号	岡谷市都市公園の指定管理者の指定の変更について
議案第5号	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	議案第26号	令和5年度岡谷市地域開発事業特別会計予算
議案第6号	岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	議案第27号	令和5年度岡谷市分収造林事業特別会計予算
議案第7号	岡谷市営住宅条例の一部を改正する条例	議案第28号	令和5年度岡谷市霊園事業特別会計予算
議案第8号	市道路線の廃止について	議案第29号	令和5年度岡谷市温泉事業特別会計予算
議案第9号	市道路線の変更について	議案第31号	令和5年度岡谷市湊財産区一般会計予算
議案第10号	市道路線の認定について	議案第32号	令和5年度岡谷市水道事業会計予算
議案第11号	令和4年度岡谷市一般会計補正予算(第15号)	議案第33号	令和5年度岡谷市下水道事業会計予算
議案第12号	令和4年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	議案第34号	令和5年度岡谷市病院事業会計予算
議案第13号	令和4年度岡谷市下水道事業会計補正予算(第1号)	議案第35号	岡谷市議会の個人情報の保護に関する条例
議案第14号	令和4年度岡谷市病院事業会計補正予算(第5号)	議案第36号	岡谷市議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例
議案第15号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例		

### ○令和5年 第1回定例会(賛否が分かれた議案等)

議案番号	件名	小松社	田村みどり	浜幸平	吉田浩	中島秀明	今井康善	今井義信	中島保明	早出すみ子	今井秀実	武井友則	渡辺太郎	早出一真	藤森博文	笠原征三郎	大塚秀樹	山崎仁	遠藤真弓
議案第24号	令和5年度岡谷市一般会計予算	議長	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	令和5年度岡谷市国民健康保険事業特別会計予算	議長	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	令和5年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計予算	議長	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	「安全保障3文書」の閣議決定に抗議し撤回を求める意見書	議長	欠	×	×	×	×	×	×	○	欠	×	×	×	×	×	×	×	×

議長・議長職のため採決に加わらない ○:賛成 ×:反対 欠:欠席

ご意見・ご要望  
市議会だよりについて、ご意見・ご要望をお受けいたしますので下記までお寄せください。



連絡先 岡谷市議会事務局  
TEL.23-4811(内線1711)  
FAX.22-6213

メール gikai@city.okaya.lg.jp

右のQRコードからアンケートにお答えください。

